

- 第二期教育振興基本計画
- 小学校学習指導要領
- 東京都教育ビジョン
- 東京都教育施策大綱
- 目黒区教育委員会教育目標・基本方針
- めぐろ学校教育プラン

**学校教育目標** 持続可能な社会の実現のために行動できる将来の担い手となる子どもを育てる ●よく考える子 ●心ゆたかな子 ●元気な子 ●やりとげると

目指す子ども像

**よく考える子** 自己を高めるとともに、自己実現に向けて行動できる子

**心ゆたかな子** 自他を尊重し、ともに生活を築いていこうとする子

**元気な子** 困難を乗り越えることができる強い意志をもった子

**やりとげると** 目標をもち最後まで取り組むことができる子

### めぐろ学校教育プラン

目指す子ども像・学校像

#### 《目指す子ども像》

21世紀をたくましく生きる人間性豊かなめぐろの子ども  
●確かな学力  
●豊かな心  
●健やかな体

#### 《目指す学校像》

魅力と活力にあふれ、信頼される学校  
●魅力ある学校  
●活力あふれる学校  
●信頼される学校

#### 取組の方向

- ①確かな学力の向上
- ②豊かな心の育成
- ③健やかな体の育成
- ④新しい時代の学校教育を支える環境整備
- ⑤魅力ある学校施設への更新
- ⑥学校内外の連携・分担による学校マネジメントの実現
- ⑦子どもの安全・安心の確保

### 文部科学省研究開発学校指定校

東京都教育委員会デジタルを活用したこれからの学び推進地区実践校

目指す学校像

次代を担う子どもが輝き、命のバトンをつなぐ 五本木小学校  
自尊感情や自己肯定感を高める学校

研究発表会 令和9年1月21日(木)

### 目指す姿を実現するための具体的方策



#### 自ら学び、新たな学びへ向かう学校

##### ○研究開発学校としての取組

研究開発学校3年目として40分授業午前5時間制の効果的な在り方を研究し、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善を図る。生み出した時間として自己選択学習やユネスコ学習を充実する。

##### ○「デジタルを活用したこれからの学び」推進地区実践校としての取組

「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、電子図書館、百科事典等を含め学習用情報端末を効果的に活用し、学習内容の確実な定着や学習を深め、広げる手だてとする。

##### ○言語能力向上の取組

情報活用能力を高め、「主体的・対話的で深い学び」を実現できるよう、学習や生活上の言葉を大切に教育を推進していく。

##### ○ユネスコスクールとしての取組

2010年からユネスコスクール認定校として取り組んでいるESD(持続可能な開発のための教育)を全教職員で共通理解し、ホールスクールアプローチを充実し全ての教育活動と関連付けて推進を図る。

##### ○体験活動の充実

「五本木の森」やゲストティーチャーを積極的に活用する等、「本物との出会い」を重視した体験活動を積極的に取り入れ実感を伴った学習活動を展開する。

#### 安全で安心な学校

##### ○未来を創り出す教育の推進

95周年の節目を迎え、コミュニティ・スクールとしての取組を推進しながら、児童が地域や学校に対する愛着と誇りをもち、自ら主体的に、共によりよい未来を創り出そうとする態度の育成を図る。

##### ○人権教育の充実・道徳教育の推進

人権教育推進校としての取組を踏まえ、人権尊重の理念に基づき、「目黒区子ども条例」を踏まえ、一人ひとりが安心して学ぶことができる環境を整える。道徳の学習活動の充実を図り、年間指導計画のもと、人権尊重、生命尊重の精神を醸成し、思いやりのあふれる子供を育てることで道徳教育を推進する。

##### ○生活指導の充実

発達段階に応じて規範意識を育て、基本的な生活習慣を身に付け、安心して学校生活を送れるようにする。「学校いじめ対策基本方針」を基にいじめの未然防止及び早期発見・早期対応に努める。命の教育、安全教育、食育を推進する。

##### ○特別支援教育の推進

特別支援学級設置校及び特別支援教室拠点校としての取組を充実させるとともに、特別支援教育に対する理解を推進する。学習や学校行事等で交流及び共同学習を推進していく。

##### ○保護者・地域等との連携

保護者、地域等に対して、学校だよりや学校公開、ホームページ等を活用し、学校からの情報発信に積極的に取り組み連携を促進していく。また、地域教材の開発、地域人材との連携、地域行事への参加等積極的に取り組む。

#### 教職員が学び続ける学校

##### ○児童一人ひとりのよさを伸ばす

子どもとの様々なかかわりを大切に、一人ひとりのよさを多面的・総合的にとらえることを重視した児童理解に努め、保護者や地域の方々と共に育てる教育を推進する。

##### ○向上心をもって学び続ける

時代の変化に柔軟に対応し、教職員が自己研鑽に努めるとともに、研究、各種研修やOJTを通じ、相互に授業力を高める。40分午前5時間制による下校時刻の繰り下げ等で生み出した時間を指導力向上のために活用し、ワーク・ライフ・バランスに努め、効果的に校務を行うことで児童と向き合う時間を充実させる。

##### ○教育公務員としての自覚をもち、期待と信頼に応える

子供たちの模範となるよう教育公務員としての自覚をもち、職責を果たすために、管理職や教職員間の報告・連絡・相談を密にして問題を事前に防ぎ、早期解決できる組織を構築して質の高い教育活動を実現するとともに、服務事故防止の徹底を図る。